

まるりん通信



【発行：公益財団法人屋久島環境文化財団 TEL0997-42-2911 FAX0997-49-1018】

～屋久島学ソサエティ主催～

第5・6回 屋久島研究講座開催

【楽しく学ぼう屋久島のこと】

◆◆第5回屋久島研究講座◆◆

『森林リモートセンシングの最前線
とヤクスギ巨木林調査の可能性』

日時：12月15日(土) 13:30～16:30
場所：屋久島町総合センター(安房)
講演者：加治佐剛(鹿児島大学)
高嶋敦史(琉球大学)
井田彰彦(NHKエンタープライズ)



◆◆第6回屋久島研究講座◆◆

『屋久島のニホンザル歴史と多様性
をひもとく』

日時：12月16日(日) 14:00～16:30
場所：屋久島町総合センター(安房)
講演者：服部志帆(天理大学)
杉浦秀樹(京都大学)
半谷吾郎(京都大学)
本田剛章(京都大学)
澤田晶子(中部大学)



※どの回も入場料無料です。事前申込無しでどなたでも参加できますので、直接会場にお越しください。
※ガイドの方で受講証明書が必要な方のみ、屋久島環境文化財団(42-2900)に必ず事前申込が必要です。



～お知らせ～

◆◆救命救急法講習会◆◆

日本赤十字社による講習会を以下のとおり開催します。

【内容】事故防止の知識や応急手当の技術習得

◆基礎・救急員要請講習会

期 日：1月9日(水)～11日(金)
場 所：屋久島環境文化研修センター
参加費：一般 7,000円
屋久島ガイド制度登録者 6,000円
申 込：12月21日(金)17:00まで

◆資格継続研修

期 日：1月12日(土)
場 所：屋久島環境文化研修センター
参加費：2,000円(教材費・保険料等込み)
申 込：12月21日(金)17:00まで

詳しくは、研修センター(TEL46-2900)にお問い合わせください。

◆◆屋久島ガイドセミナー◆◆

エコツーリズムの理念やガイドとしての基本的な知識・技術及び必要な資格などに関する講習です。

期 日：1月24日(木)～25日(金)
会 場：屋久島環境文化研修センター
内 容：ガイドの責任と補償など
そ の 他

詳細については、財団ホームページに掲載予定。ご不明な点は研修センター(TEL46-2900)にお問い合わせください。

◆◆村センター臨時休館のお知らせ◆◆

平成31年1月21日(月)～1月31日(木)までの間、文化村センターのメンテナンスを行うため臨時休館いたします。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



『昆虫の環境適応 飛ばなくなったカミキリムシ』

中国語で「天牛」とは何を指すかご存知ですか。日本語で読み方は「てんぎゅう」ですが牛の品種のことでなく「カミキリムシ」のことを指します。カミキリムシの特徴である長い触角を牛の角に例えたことが由来とされています。

カミキリムシの特徴には他に優れた飛翔能力があり、餌となる樹や花粉を求め森を飛び回ります。同時に分布を全国に拡大させ多様な環境に適応したことで、現在カミキリムシは約800種が記録されています。

しかし、カミキリムシの中にはとても変わった種があります。なんと飛翔能力を持たないのです。その一種コブヤハズカミキリは飛ばないカミキリムシとして知られ、屋久島にも固有種のヤクシマコブヤハズカミキリがいます。彼らの仲間が生息する高山帯は、年間を通し強風が吹くため、飛翔中風にあおられうまく飛ばず、効率よく移動できません。そのため飛ぶことよりも地上や木々の間を歩いて移動するようになったと考えられています。

彼らの仲間は、環境への適応の中で「飛ばなくなった」のではなく、「飛ばなくなった」のです。

このようにカミキリムシの優れた能力である「飛ぶ」ことを捨て、歩行という手段に行きついたコブヤハズカミキリだけでなく、カミキリムシ達はすべて、生息する場に環境適応し進化を遂げているのです。



写真:ヤクシマコブヤハズカミキリ(体長15mm)

◆◇財団の活動報告◆◇

●幼児環境教育～秋のお散歩会～(11/10)



2歳児から小学2年生までとその保護者の方を対象に、森散歩を楽しみました。森の中では秋ならではの様々な色のものを探しながら、親子でゆったりとした時間を過ごしていただくことができました。

●秋を感じるエコツアー(11/17)

食欲の秋をテーマに、さつまいもにスポットを当てて、歴史の勉強や芋ほり体験、掘りたての3種類の芋を使ったお菓子作りを行い、充実したセミナーとなりました。



●アイランダー2018に出展(11/17～11/18)



全国の島々が一堂に会するイベント(東京都池袋)に参加しました。1万人以上の来場者に屋久島と財団のさまざまな魅力を発信しました。

●屋久島PRイベント(11/24～11/25)

屋久島と財団を多くの人に知っていただくため、イオンモール鹿児島(鹿児島市東開町)でPRイベントを開催しました。



◆◇屋久島を想う◆◇

中馬光太郎(運転手兼施設管理員兼事務補助員)

『見て 知って 変わったもの』

屋久島の代名詞といえば「雨」がその一つに挙げられると思います。島を離れて暮らしていた時、「雨」は日中でも辺りを暗くし、濡れれば不快になるマイナスのイメージが付きまとうものでした。

昨年40年ぶりに島へと帰ってきてから、たまに叔父の漁船に乗って海へ出ることがあります。海上から島を眺めていると、時々、白くて淡い霧が山肌をゆっくりと登っていき、山の中腹や山頂に留まって色を濃くしていくという光景を見ることがあります。その屋久島生まれの雨雲は、たまに激しい水しぶきを海面にあげながらゆっくりと迫ってくると、私の服をびしょりと濡らしたあと通り過ぎていきます。そこには、以前とは違い、屋久島と一緒に洗ってもらったような感覚があり、むしろ爽快な気分になっている自分がいたのです。他ではそうそう味わえない体験だよなあと感じながら、毎日傘を車に積んで出掛けています。



屋久島環境文化財団では、『facebook』ページを開設し、財団の活動状況や旬な屋久島の情報を提供しています。

是非ご覧いただき、皆さんの「フォロー」「いいね!」をお願いします。



【12月・1月の休館日】

●村センター・・・12/17(月)・12/25(火)・12/28(金)～1/1(火)

1/7(月)・1/15(火)・1/21(月)～1/31(木)

●研修センター・・・12/17(月)・12/29(土)～1/3(木)・1/14(月)・1/21(月)・1/28(月)

